

シリーズ「出雲市のごみ処理基本計画について」 その1

出雲市では、出雲市廃棄物の処理及び清掃に関する条例第7条の規定に基づき、平成19年3月に「出雲市ごみ処理基本計画」を策定し、ごみ処理施策を実施してきましたが、計画策定から5年を経過しており、関連する国の動向や平成23年10月の斐川町との合併などにより計画の変更が必要になりました。

そこで、ごみの減量・再資源化及び適正な処理を推進するために前計画を改定し、第2次ごみ処理基本計画を策定しました。



○計画の期間	平成25年度～平成34年度（10年間）
○ごみ処理基本計画	基本目標「もったいない」の心で築く循環型のまち
	基本方針
	(1) 排出抑制の推進
	(2) 再生利用の推進
	(3) ごみの適正処理



これまで「出雲ごみダイエット通信」の第1号・第2号でごみの現状をお知らせしてきましたが、本号からはこの計画を紹介いたします。

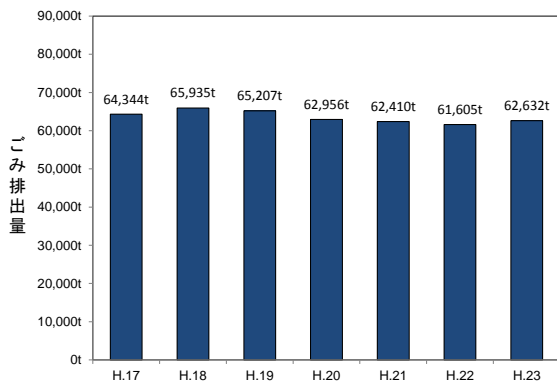
第1回目の今回はごみ排出量の推移についてです。

出雲市のごみ排出量の推移

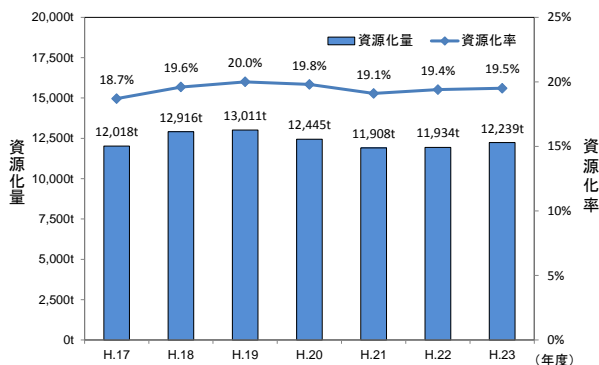
ごみの排出量は、平成 18 年度をピークに減少傾向を示していましたが、平成 23 年度に増加に転じ、平成 24 年度はさらに増加しました。これまでの計画では、平成 23 年度に平成 17 年度と比較して 10%削減という目標を立てて、減量化に取り組んできましたが、約 3%の削減に留まり、目標を達成することができませんでした。

ごみ排出量・資源化量・最終処分量の比較

項目	排出量等の状況	
	H17	H23
ごみ排出量 (減量化率)	64,344t/年 (—)	62,632 t/年 (H17 比 3%減)
上記のうち資源化したもの (資源化率)	12,018 t/年 (18.7%)	12,239 t/年 (19.5%)
最終処分量 (埋立率)	10,381 t/年 (16.1%)	9,104 t/年 (14.5%)

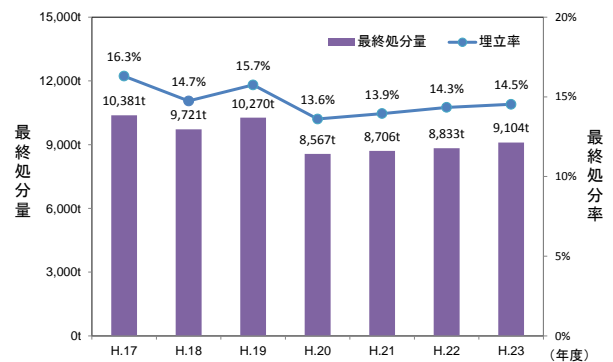


ごみ排出量の推移



資源化量の推移

不燃ごみ・資源ごみがわずかに減少傾向であるのに対し、可燃ごみが増加しています。家庭や事業所から出てくるごみがリサイクルされずに、焼却処分されることが多いと考えられます。



最終処分量の推移

そこで、前計画での課題をふまえ、新たな目標を定め、ごみ減量・再資源化推進のための行動指針等をつくりました。詳細については次号からお知らせいたします。



教えて！ ごみの出し方！

新しく始めましたこのコーナーでは、知っているようで知らなかったごみの出し方や、ついつい起こってしまうトラブルなどをテーマに分かりやすく解説していきます。

今回は・・・

無記名のごみ袋は 収集しません！



実は意外に多いのが無記名のごみ袋です。市が収集するまでは自分のごみです。きちんと責任を持つことが大切です。

また、分別の仕方が間違っ
て残された場合は、持ち帰っ
て自分でもう一度正しく分
別し直してください。それ
によって分別が徹底するの
です。

突撃！ごみ減量化レポート！

このコーナーは、皆様のご家庭や職場でごみ減量をどのように工夫して実践していらっしゃるかをレポートし、紹介するという情報コーナーです。

今回は斐川地域にお住いのHさんの職場に突撃させていただきました。

前回に引き続きHさんをレポートさせていただきました。Hさんの職場は市内の事務職場で、職場のみなさんはリサイクル意識がどちらかというと高い方だとのことですが、しかし、ちょっと職場を覗くと・・・あれれ、可燃ごみや空き缶が結構あるようですね。

「そうなんです。できるだけ職場でごみを出さないように気をつけてはいるんですが、ついつい缶コーヒーやコンビニ弁当を買っちゃいますよね。特にこれから夏に向かっていくと、自販機のジュースを頻繁に買ってしまいますね。」



そこで、Hさんは毎日マイボトルを持って職場に通っておられます。大好きなコーヒーを毎朝自分で作って、仕事の合間に味わっていらっしゃるようですよ。

「そうなんです。ちょっと前まではマイボトルを持って職場に行くなんて違和感がありましたけど、慣れてしまうと気になりませんよ。それに、自分で作ったコーヒーは格別ですよ。経費もずいぶん安く上がります。毎日の事でもんね。職場の皆さんにも勧めていますよ。」

最近のボトルは保温性が良いだけでなく、オシャレなものもあるようです。みなさんもマイボトルを持参してごみの減量化に取り組まれてみてはいかがでしょうか。